

### 学校経営ビジョン

学び合いのなかで

<真理を探究し、勤労を愛する、気品のある生徒>の育成を目指し、  
<北斗のように県内外で活躍できる社会性を育てる学校>を創造する。

常に高く、北斗のように...  
キャリア教育を通して育てたい  
7つの資質・能力



資質・能力を育む7つのアクション

<p><b>自分をつくり社会に参画する 探究学習</b></p> <p>＜君たちは宮崎のためにどう生きるか＞をコンセプトに、学びの集大成の場として位置付ける。</p> <p>仕事を探究していくことを通して、自分自身の創造と社会への参画を探究できるようにする。</p>	<p><b>見方・考え方を働かせる 教科教育</b></p> <p>各教科の見方・考え方を働かせながら、問題について粘り強く考え抜くことができるようにする。</p> <p>各教科の見方・考え方を可視化し、教師間/教師・生徒間で共有できるようにする。</p>	<p><b>多様な他者との共生を探る 道徳教育</b></p> <p>マイノリティの視点に立ちながら、多様な他者との共生の在り方を探究できるようにする。</p> <p>道徳的な問題に対して、当事者性をもって(自分事として)考えることができるようにする。</p>	<p><b>多様な他者との協働を探る 交流活動</b></p> <p>特別支援学級と通常学級の交流活動を通して、協働の在り方を探究できるようにする。</p> <p>異学年集団による活動を通して、先輩や後輩としての在り方を探究できるようにする。</p>	<p><b>見通しと振り返りで学びを生み出す 学校行事</b></p> <p>学校行事の目的や目標の実現に向けて、見通しをもって取り組めるようにする。</p> <p>振り返り活動を通して、学校行事を生徒それぞれが意義づけ、学びを得られるようにする。</p>	<p><b>輝く未来へのパスポートをつくる 学級活動</b></p> <p>自分の成長の証となるポートフォリオを活用し、自分自身や未来について探究できるようにする。</p> <p>委員会活動を中核とした集団づくりにより、他者と協働しながら参画することができるようにする。</p>	<p><b>自分に問いかけ自分でこたえる 日常生活</b></p> <p>自分自身に問いかけ、自分でこたえることで、適切な行動を選択できるようにする。</p> <p>学習したことを日常生活の様々な場面での実践につなげることができるようにする。</p>
---	--	--	---	--	---	---

主な活動

- |  |   |  |  |   |   |   |
|--|---|--|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>総合的な学習の時間</li> <li>職場体験学習</li> <li>委員会活動</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の授業</li> <li>我等新聞批評家</li> <li>朝読書</li> <li>ICT活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>道徳科授業</li> <li>PTCC討論会</li> <li>illuminate of Human Rights</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>特支との交流</li> <li>体育大会・橘祭</li> <li>環境美化活動</li> <li>読み語り会</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>宿泊学習</li> <li>修学旅行</li> <li>儀式的行事</li> <li>防災学習</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>話し合い活動</li> <li>進路学習</li> <li>キャリアパスポート</li> <li>手帳・メモの活用</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>校則の実現</li> <li>部活動</li> <li>朝の会・帰りの会</li> <li>登下校</li> </ul> |
|--|---|--|--|---|---|---|

私たちの約束

<p><b>探究を探究します</b></p> <p>生徒が探究の楽しさを実感し、探究に没頭するために...</p> <p>よりよく探究するための方法を探究したり、生徒と学校外の人材を結び付けたりします。</p>	<p><b>授業を改善します</b></p> <p>生徒が各教科で学ぶ見方・考え方に注意を向けるために...</p> <p>各教科の見方・考え方を働かせて課題を解決する授業の在り方を研究し続けます。</p>	<p><b>寄り添います</b></p> <p>生徒が自分研究を進めることができるようにするために...</p> <p>生徒の困りごと(潜在的ニーズ)を探り、それを満たすような工夫をします。</p>	<p><b>支え合います</b></p> <p>生徒が多様な他者と協働して活動できるようにするために...</p> <p>すぐ近くにいる、頼りになる味方に、遠慮なく、助けを要請します。</p>	<p><b>全体を俯瞰します</b></p> <p>生徒が学校行事から多くのことを学べるようにするために...</p> <p>全体を俯瞰しつつ、「今、ここ」での生徒たちの活動にエネルギーを注ぎます。</p>	<p><b>学びを集めます</b></p> <p>学校生活のあらゆる場で学んだことを自分に活かすために...</p> <p>学びを散らかさず、無駄にせず、蓄積して使えるような声掛けを継続しましょう。</p>	<p><b>期待を伝えます</b></p> <p>気品を保った行動が習慣となっていくようにするために...</p> <p>「今、ここ」で注がれている期待をメッセージとして伝え続けましょう。</p>
---	---	---	--	---	---	--

生徒に期待する行動パターン

<ul style="list-style-type: none"> <li>生き生きとした表情や身体活動で探究活動に取り組むことができる。</li> <li>様々な情報を自分の問題関心に引きつけて取り入れ、再構成できている。</li> <li>試行錯誤を繰り返すことを前向きに捉え、それこそが探究の醍醐味であることを実感できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各教科の特色ある視点を学んだり、見つけたりすることができる。</li> <li>教科の枠を越えて視点のつながりを見つけている。</li> <li>各教科で学んだ様々な視点を課題解決の場面において役立てることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他者の困りごとを見通し、解消する行動をとることができる。</li> <li>「道徳で考えたこと」や「人権宣言」を行動に移そうとすることができている。</li> <li>お互いの人権を大切にするという視点から物事を考え、行動しようとしていくことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>通常学級と支援学級の壁を飛び越え、仲間と関わりあっている。</li> <li>学年の壁とびこえ、ファミリー活動にすずんで関わりあっている。</li> <li>交流することに意義を見出すとともに、交流している相手の良さを理解することができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>目的と方法を念頭に置きながら、活動をやり抜くことができる。</li> <li>強いリーダーシップやフォロワーシップで集団に関わりあっている。</li> <li>振り返りを大事にし、行事から学んだことを言語化し、日常生活に活かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>キャリア・パスポートを活用して自分の成長を確かめることができる。</li> <li>学級の課題解決のために自分の役割を果たすための行動ができている。</li> <li>話を聞きながらメモをとったり、気づいたことをメモしたりすることができている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>宮大附属中の生徒として期待されている行動をとることができる。</li> <li>話し合い活動に参画し、メンバーとともに新たな知をつくることできている。</li> <li>Hokuto planner(手帳)を活用しながら自分の生活をコントロールすることができている。</li> </ul>
--	--	--	--	--	--	---

### キャリア教育(将来への準備教育)のためのマインドセット <ラッキーナスビ2.5>

<p><b>&lt;計画的偶発性&gt;を視野に入れよう</b></p> <p>たまたまめぐりあった人や情報、学びが、自分の人生を大きく変える幸運(ラッキー)へと変わる。あらゆる教育資源を最大限に活用し、幸運(ラッキー)をたくさん呼び込もうとする構えを求めよう。</p>	<p><b>&lt;ナスビの売り方&gt;を問い続けよう</b></p> <p>「我等の目標」を実現するための方法を&lt;ナスビの売り方&gt;と呼ぼう。様々な教育活動において、「生徒たちはどのようなナスビの売り方&gt;を学び得るか?」を常に問い、考え、実践し続けよう。</p>	<p><b>&lt;モチベーション3.0&gt;を求め続けよう</b></p> <p>「評価されるからやる」という&lt;モチベーション2.0&gt;を認めつつ、「もっと学びたいからやる」「成長したいからやる」という自発的・内発的な動機&lt;モチベーション3.0&gt;を求めていこう。</p>
---	---	--